

V 活 動 ・ 啓 発

1 令和元年度 事業活動・啓発

	事業内容
4月	転入者向けごみ分別相談会（3月30日～4月3日）
	春の「ゼロごみの日」（4月15日）
	春の大掃除月間（4月15日～5月14日）
5月	リサイクル推進とごみ減量PR活動① 530「ごみゼロ」の日（5月30日）
	食品ロス削減運動・生ごみ3きり運動説明会・生ごみ堆肥化説明会・生ごみ減量啓発ほか
6月	リサイクル推進とごみ減量PR活動② 出張！エコライフ情報局（6月7日～6月13日）
8月	リサイクル推進とごみ減量PR活動③ 「とまこまい港まつり」（8月2日～8月4日）
	リサイクル推進とごみ減量PR活動④ 夏休みだよ！リサイクル自由研究所♪（8月6日～8月9日）小学生向けのリサイクル講座
	使用済み割り箸回収
9月	転入者向けごみ分別相談会（9月25日～10月4日）
10月	秋の大掃除月間（10月1日～10月31日）
	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑤ 「とまこまいキッズタウン2019」に出店（6日） ごみステーションパトロール体験
	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑥ 「食べる・たいせつフェスティバル2019 in 苫小牧」に出展（10月12日） 家庭ごみ分別ゲーム・分別パネルの展示・ごみ分別に関する相談ほか
	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑦ 「苫小牧漁港ホッキまつり」（10月20日）
	秋の「ゼロごみの日」（10月21日）
	使用済割り箸回収・2510運動PR
	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑧ 「みんなの消費生活展」（11月9日） リサイクル講座・2510運動PRほか
12月	ウォッチレット掲載による啓発「2510(ニコとま)運動」（12月2日～1月31日）
1月	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑨ 冬休みだよ！リサイクル自由研究所♪（1月7日～1月10日） 小学生向けのリサイクル講座
	リサイクル推進とごみ減量PR活動⑩ とまこまいスケートまつり（2月1日～2月2日）
3月	「053（ゼロごみ）通信」の発行
※ 随時	「施設見学会」「出前講座」の実施、ばい捨て看板の設置

2 春・秋の大掃除及び「ゼロごみの日」

清潔で住みよいまちづくりのため、市民が自主的に清掃活動に参加することで、環境美化意識の高揚を図ることを目的として、昭和 62 年度より大掃除月間中の日曜日を「まちをきれいにする日」と決めました。毎年、春と秋に町内会や企業などが協力して、市内の道路・公園・空き地などを一斉に清掃しています。

なお、平成 24 年度から一斉清掃の日を「ゼロごみの日」と改称しました。

令和元年度参加人員	春の大掃除	16,187 人
	秋の大掃除	14,983 人

3 苫小牧市ぼい捨てによる空き缶等の散乱の防止に関する条例の一部改正と P R

本条例は、清潔で快適な生活環境の形成を図るため、ぼい捨て禁止及び散乱防止についての市民・事業者の責務を規定し、平成 10 年 10 月 1 日に施行し、平成 28 年 4 月 1 日付で、本条例の一部を改正しました。

○ 主な改正内容

- ・市は、事業者や市民の環境美化活動に対して積極的に支援していくこと。
- ・空き地等へのぼい捨てを未然に防ぐため、土地所有者等も市の施策に協力しなければならないこと。
- ・市は、ぼい捨てを行った者に対し、市が指導、勧告及び命令できること。

なお、この条例改正に伴い、新たなぼい捨て防止看板の設置を行い、ぼい捨ての未然防止に努めています。



4 分別意識の徹底

ごみの減量やリサイクルを推進するためには、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物、大型ごみの分別ルールの遵守が重要であります。

このため、市の清掃指導員による現地指導をはじめ、「クリーンとまこまい」「ごみ収集カレンダー」等の市民向け各種資料やリーフレットを配布するほか、出前講座や各種イベント等で啓発活動を行い、市民に分別意識の浸透を図っています。

また、平成 25 年度から E メールでごみ収集日をお知らせするサービス「53cal (ごみカレ)」を実施しています。

なお、令和 2 年 10 月から、新たにスマートフォン向けの「ごみ分別アプリ・053City」を導入しています。

5 「053 (ゼロごみ) 通信」の発行

ごみ収集カレンダーに清掃事業に関するトピックを掲載する「053 (ゼロごみ) 通信」を掲載し、コンポスト容器等の購入助成制度や、食品ロス削減を目的とした「ニコとま (2510) 運動」などを紹介し、市民に情報発信をしています。

6 不法投棄・不適正排出防止活動の実施

不法投棄等監視パトロールや不法投棄防止看板・監視カメラの設置、警察等関係機関と連携した対応に加え、日本郵便(株)小牧郵便局、北海道電力(株)小牧支店との協定締結による不法投棄対策の強化や、共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会を通じて共同住宅居住者の排出マナーの向上と良好な居住環境確保を図るための取組を実施しています。



このほか、市民からの不法投棄に関する情報提供を目的として、平成 25 年度に「不法投棄専用ダイヤル 53-0530 (ごみゼロごみゼロ)」を開設しています。

また、不適正排出を防止するため平成 27 年度から、ごみの排出状況が良好な共同住宅のごみステーションを優良ごみステーションとして認定しています。

7 沼ノ端クリーンセンター見学会の実施

ごみ減量とリサイクルの大切さについて市民理解を深めるため、町内会、各種団体、小・中学校等を対象にごみ処理施設を見学していただき、ごみの受入れから処理までの工程を説明する見学会を実施しています。

8 出前講座の実施

町内会や市民団体等へ職員が講師として出向き、ごみの減量と分別、リサイクル、生ごみ堆肥化などを説明し実践してもらうことで、参加者のごみに関する理解を深め、意識啓発に努めています。

また、次世代市民の教育の一環として、小学校低学年、高学年、中学校と学年に応じた講座を開催し、環境教育の推進に努めています。

9 4 R 運動の推進

従来から、リデュース (出さない)・リユース (再利用する)・リサイクル (再生する) と 3 R 運動を推進してきましたが、平成 24 年度からリフューズ (もらわない) を加え、4 R 運動を推進しています。

10 生ごみ 3 きり運動の推進

生ごみの減量対策として、平成 26 年度から、「使いきり」「食べきり」「水きり」の 3 つの「きり」を合言葉に、「生ごみ減量 3 きりプチダイエット」を推進しています。

11 食品ロス削減運動の推進

食品ロス削減のため、市内のコミュニティセンター等で消費期限が 2 か月以上残る食品を集め、フードバンクに寄贈するフードドライブ事業を実施しています。その他各種イベントにおいても、食品ロスの削減を呼びかけています。

12 053（ゼロごみ）推進事業の実施

「ごみの減量・リサイクルの推進・まちの環境美化」を基本テーマとし、まちぐるみで取り組む053（ゼロごみ）大作戦を平成19年度から開始しています。なお、平成21年度にステージ2、平成24年度にステージ3、平成27年度にステージ4を実施し、令和2年度はステージ5を展開中であります。

※参考 ～053（ゼロごみ）の由来～

北海道教育大学の教授が出版した本の中で、「苫小牧の郵便番号は053であり、ゼロごみの町と訳して、美しい太平洋の自然にふさわしいごみのない町になるように」と記されており、郵便番号にちなんだ053を本市の環境標語としています。

13 環境戦隊053ファイブ

環境戦隊053（ゼロごみ）ファイブとは、子ども達への環境教育の一環として、ごみの減量とリサイクルの大切さや、ばい捨て禁止など環境美化の大切さを意識していただくことを目的として活動している本市のオリジナルヒーローです。

活動内容は、保育園や幼稚園などに出向き出前講座を行うほか、市内のイベント会場等において意識啓発に努めています。

